

プロの芋煮 格別

天童 特養利用者に振る舞う



調理師が振る舞った芋煮に笑顔の利用者 二天童市・明幸園

天童市の温泉旅館の調理師らでつくる天童調理師・庖祥会（ぼうしょうかい）の青年部「若連部」（伊藤光昭部長）が15日、市内の特別養護老人ホーム明幸園で利用者120人に芋煮を振る舞った。

秋の恒例行事で20回目。旅館と取引のある業者の協力で食材を確保し、部員10人が2日ばかりで調理に当

たった。高齢者向けに里芋やこんにゃくを軟らかく、細かく仕上げた。栗のプリンを添えて、伊藤部長（42）、大江篤さん（39）、小林昭人さん（41）の3人が持ち寄った。

利用者たちはプロの味に「いつもおいしいけど、今日は格別」と感謝していた。